

# あまがせ温泉まつり

今年もあまがせ温泉まつりが開催されます。  
恒例の素人芝居を観て、温泉や食事などを楽しみながら春のひとときをお過ごしください。

- とき  
4月9日(日)
- ところ  
天瀬公民館・天瀬公民館前お祭り広場

- 天ヶ瀬座「素人芝居」入場無料  
昼の部 午後1時開演  
夜の部 午後7時開演  
天瀬公民館
- どんたく隊  
午前8時30分～午後1時  
天瀬町内各所、天瀬公民館前お祭り広場
- 舞踊ショー  
午後6時開演  
天瀬公民館

まんぷく屋台もあります♪  
当日正午～午後4時の間、1コイン(100円)で天ヶ瀬温泉に入れます♪



☎日田市観光協会天瀬支部 ☎☎2 1 6 6  
天ヶ瀬温泉旅館組合 ☎☎3 4 6 6  
天瀬振興局産業建設係 ☎☎3 1 4 7

## 市長コラム 坂の上の雲を探して 45

「新しい公共」。聞きなれない言葉かと思えます。「公共」と言えば、役所や公務員・議員などをイメージするかもしれませんが、「公共」には大きく分けて二つの要素・要因があります。

一つは、国や自治体が市民から集めたお金(税金)を使って行う「官」による活動。主に公務員が活動します。政府・市役所・公共事業・公教育・警察・消防などです。

もう一つは、市民が地域的ネットワークなどを母体に、ボランティアや寄附金などを財源として行う「民」による活動です。代表的な活動として、NPO・自治会・住民運動などがあります。

戦後、右肩上がりに拡大成長を続けてきた日本ですが、人口減少・超高齢化社会を迎え、世界でも経験したことのない社会状況を迎えようとしています。これまでは、「官」と「民」それぞれの役割を果たすことで社会を支えあってきましたが、特に「官」による公共への対応は、少子・高齢化社会においては、財源・人材の確保や分配・執行等が難しくなってきました。また、「民」においても人材・資金等に不安はつりまわります。

そこで、これまでと変わらぬ「安心して暮らせる社会」を確保するためには、これまでの「公共」の概念にとらわれずに、一般的に考えられる「行政」が独占・執行する「無責任お任せ民主主義」というイメージを払拭し、「官」と「民」の二元論から、将来的に対応できる「新たな公共」の概念と仕組みを持ち合わせた「新たな社会的仕組みづくり」が必要ではないかと考えています。

「変わらないうために変わり続ける」、私が選挙のときに掲げたフレーズの一つです。

今こそ「英知を絞り・汗を流し、価値ある未来のために挑戦する時」です。「地域力日本」を目指し、「市民(志民・支民)」との「共同のまちづくり」を進めていきます。